

長崎県庁で行われた締結式には、佐々木重人学



協定書を手に佐々木学長(左)と大石知事

Uターン就職促進協定 長崎県と締結

36自治体目

本学は1月24日、長崎県とUターン就職促進協定を結んだ。Uターン就職促進協定は、「地方で働きたい」「地元に戻りたい」という学生を支援するため、全国の地方自治体と締結をしている。長崎県との締結で36自治体(35府県1市)となった。今後、同県内の企業情報を学生に提供するほか、学内の就職イベントの開催、インターシップ支援などを行っていく。

- 〈協定締結自治体〉
- 札幌市 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県
 - 札幌市 茨城県 栃木県 群馬県 千葉県 新潟県
 - 福島県 石川県 福井県 山梨県 長野県 岐阜県
 - 富山県 静岡県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府
 - 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府
 - 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 香川県 高知県
 - 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 宮崎県 鹿児島県

Uターン就職促進協定の育成と地域活性化を図っている。協定を結んでいる自治体からの情報を積極的に学生に伝えていくほか、自治体の担当者招いての合同説明会を対面やオンラインで開催し、きめ細かな支援を行っている。Uターン就職について詳しくはキャリア形成支援課まで。

就職活動本番に向けての準備はいかがでしょうか。悩みや課題は人それぞれです。キャリア形成支援課の個別相談を活用して、悩みや課題をクリアしていきましょう。こ

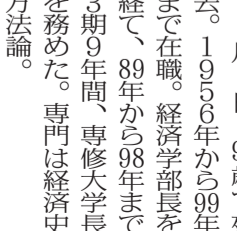
社会科学研 公開シンポジウム 「アソシエーション」に議論



議論を交わす岡田教授、小野塚氏、西部教授(左から)

専修大学社会科学研究所(大矢根淳所長)主催の公開シンポジウム「アソシエーション」の将来について、経済学部の西部忠教授が「アソシエーション(自

2月1日、93歳で死去。1956年から99年まで在職。経済学部長を経て、89年から98年まで3期9年間、専修大学長を務めた。専門は経済史方法論。



望月元学長が死去



センバツ出場を勝ち取った部員たち

専大松戸高 2年ぶり2度目 センバツ出場決定

3月に開催される第95回選抜高校野球大会(甲子園球場)に、専修大学松戸高校(千葉県松戸市、五味光校長)が2年ぶり2度目の出場を決めた。夏も含めると甲子園出場は4度目。専大松戸は昨年10月の秋季関東大会で準優勝。投手を中心とした守りと粘り強い攻めが強みだ。センバツ出場は1月27日、発表された。知らせを受けた部員たちは、グラウンドで笑顔のガッツポーズを見せ、勝利を誓った。今大会には36校が出場。3月10日に組み合わせ抽選会が開催され、18日に開幕。14日間、熱戦が展開される。オール専修での応援、よろしく願っていたし

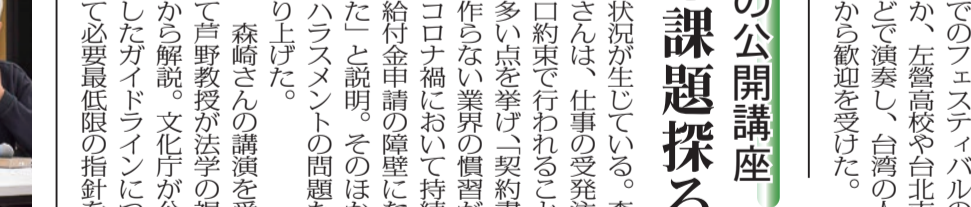


協定書を交わす渡辺校長(左)と張簡玲娟校長

専大玉名高 台湾・左營高校と姉妹校提携結ぶ 専修大学玉名高校(熊本県玉名市、渡辺正隆校長)は12月19日、台湾の高雄市立左營高級中学校(左營高校)と姉妹校提携を結んだ。今後、学術や教育、文化交流の促進を図っていく。渡辺校長が左營高校を訪問し、張簡玲娟校長と協定書を交わした。互いの文化を理解することもSDGsの達成に向けて協力していく。また、専大玉名高校は2023年度、校章を「専修大学熊本玉名高校」に改称し、現在の総合ビジネス科を「国際ビジネス科」とすることから、国際交流のさらなる推進を図り、生徒の台湾研修なども計画している。熊本県では、世界的

な半導体メーカー・TSMCの進出をきっかけに、官民での交流が活性化している。12月には、

法学研 学生と市民のための公開講座 芸能と法の現況と課題探る



法学の視点で解説した戸野教授

法学研究所は1月13日、公開講座「文化・芸能・芸能と法の現在」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催した。俳優で一般社団法人日本芸能従事者協会代表理事の森崎めぐみさんと、法学部の戸野訓和教授が講師を務め、芸能従事者を取り巻く現況と課題について話した。フリーランスとして活動する芸能従事者の立場は弱く、不利な条件で業務に従事せざるを得ない状況が生じている。森崎さんは、仕事の受発注が口約束で行われることが多い点を挙げ、「契約書を作らない業界の慣習が、コロナ禍において持続化給付金申請の障壁になった」と説明。そのほか、ハラスメントの問題も取り上げた。森崎さんの講演を受け、戸野教授が法学の視点から解説。文化庁が公表したガイドラインについて必要最低限の指針を示したもので、2022年度の3回目。初回(12月6日)は法科大学院の遠藤輝好教授が「18歳成年社会と法律」と題して講演。教員の働き方改革」をテーマに、埼玉大学の高橋哲准教授

この講座は「2022年度学生と市民のための公開講座『法と政治の現況2022』」の3回目。2022年度公認会計士試験で、新たに卒業生1人の合格が判明した。1月31日現在、合格者は卒業生10人と、在学生11人と合わせて計21人になった。講演後には、法学部の岡田憲治教授を交えてアソシエーションと政治の関係などについて意見を交わした。

「ニュース専修」年間購読のご案内

「ニュース専修」をご愛読いただきありがとうございます。2023年度の年間購読者を募集しています。購読料は1000円(税込み・郵送料含む)です。

- ※ 専修大学学生会員及び年会費納入済みの校友会会員は手続き不要です。
- ※ 本年3月に卒業される方には、5年間校友会からお送りいたします。

〒101-8425(専用郵便番号) 千代田区神田神保町3-8 専修大学広報課
03-3265-5819 E-mail: koho@acc.senshu-u.ac.jp